



肛門にこんな症状はありませんか？

肛門部の違和感（腫れ、脱出 etc）、
出血、肛門部の痛み、下着がよごれる

それは痔かもしれません

回答者

沢津橋 佑典・さわつばし ゆうすけ
平成 21 年産業医科大学卒業。大学
関連病院を経て令和 2 年 4 月から
くらで病院外科に勤務。外科専門医、
消化器外科専門医・指導医、消化器
がん外科治療認定医



●痔とはどのような疾患かご存知ですか

①イボ痔：外・内痔核（じかく）（痔を患っている人のうち、実に半数以上はこの痔核です）

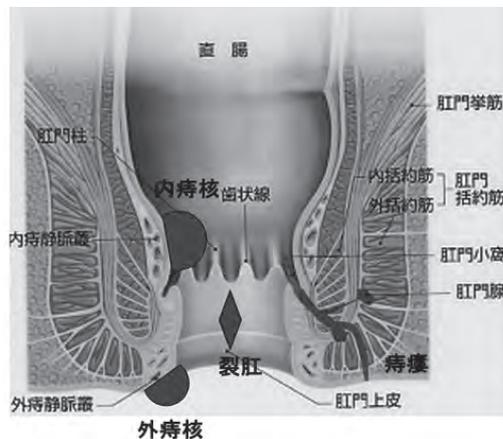
- ・「内痔核」はお尻の穴の中にできた痔核のことをいいます。軽症のときは痛みはあまりありません。しかし、出血（下血）が多いのが特徴で、茶色の便に血が混じっていることで病院を受診する人がほとんどです。症状が悪化すると痔が肛門から体外へ脱出（脱肛（だっこう））し、激しい疼痛を起こします。
- ・「外痔核」はお尻の穴の外側にできた痔核です。出血は軽度ですが、痛みが激しいことが特徴です。

②切れ痔：裂肛（れっこう）

便秘などで硬くなった便を無理やり排出することで、肛門部が裂けて発症します。主な症状は出血や排便時の痛みで、排便後もズキズキ痛み、仕事や家事が手につかなくなることもあります。急ぐ仕事や会議があったり、外出中にトイレに行けなかったりして、排便を我慢すると便秘になりがちです。そうすると直腸は便の水分をどんどん吸収してしまい、便は硬くなり、ますます排便しにくい悪循環に陥ってしまいます。このように便秘の治療も必要となることが多いです。

③あな痔：痔瘻（じろう）

ストレスや体調不良で、肛門の免疫力が落ちているときに、便秘による強いいきみ（怒責）や、下痢などの勢いのある便が原因で、肛門周囲が大腸菌などの細菌により炎症を起こし、肛門の皮膚にトンネルを作ることがあります。肛門の周囲の部分的な発赤や腫れと痛みで気づくことが多く、症状が進行すると高熱を伴うことや激痛とともに皮膚部分から膿が出てきます。その場合は早急な手術が必要となります。



●痔の治療について

1) 手術

痔瘻については手術を行うことがほとんどですが、その他の痔は症状をみて判断します。痔核については早期の場合、1泊で手術入院（硬化療法）も可能です。

2) 坐薬・飲み薬

即効性はなく、便秘の治療や腫れをとるために処方します。その間に痔になりにくい生活習慣にすることが重要です。

3) 硬化療法（ジオン注射）

内痔核・外痔核に限り、痔の部分に硬化剤を注射し手術をせずに治療が可能です。比較的新しい治療法で治療を行うには医師に資格が必要ですが、当院では外科医 2 名とも講習を受けており、安心して治療を受けられます。

肛門の症状ははさくしくてなかなか人には相談できないものですが、痔は多くの人が悩んでいる病気です。仕事や生活に支障が出るような症状もしばしば認めます。何かあれば、くらで病院外科にご相談ください。